

For Earth, For Life
Kubota

ON YOUR SIDE

決算説明資料 2023年度 第2四半期累計

(株)クボタ 代表取締役副社長執行役員 企画本部長
吉川 正人

2023年8月8日 (火)



2023年度第2四半期累計連結決算概要

(億円)	2023年度 2Q累計	2022年度 2Q累計	増減	
			金額	%
売上高	15,200	12,593	+ 2,607	+ 20.7
国内	3,151	2,991	+ 160	+ 5.3
海外	12,050	9,603	+ 2,447	+ 25.5
営業利益	12.1% 1,846	9.4% 1,188	+ 658	+ 55.4
税引前利益	12.6% 1,918	10.4% 1,305	+ 614	+ 47.0
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	8.5% 1,288	7.3% 915	+ 373	+ 40.7

米ドル 平均レート(円)	135	123
ユーロ 平均レート(円)	146	134
パーツ 平均レート(円)	3.95	3.65

前年比に対する売上の為替の影響は+820億円



機械 13,442億円（前年同期比+2,491）

日本

農機市場は引き続き弱いものの、高馬力帯が伸びたことにより増。

北米

トラクタは、在庫充足が進むもResidential市場の縮小により計画比では苦戦。建機は住宅のバックオーダー、政府のインフラ開発需要を背景に好調。

欧州

建機・エンジンは公共工事需要に支えられ増。トラクタは市場は弱含むも、前年の在庫不足による売り逃しの解消により増。

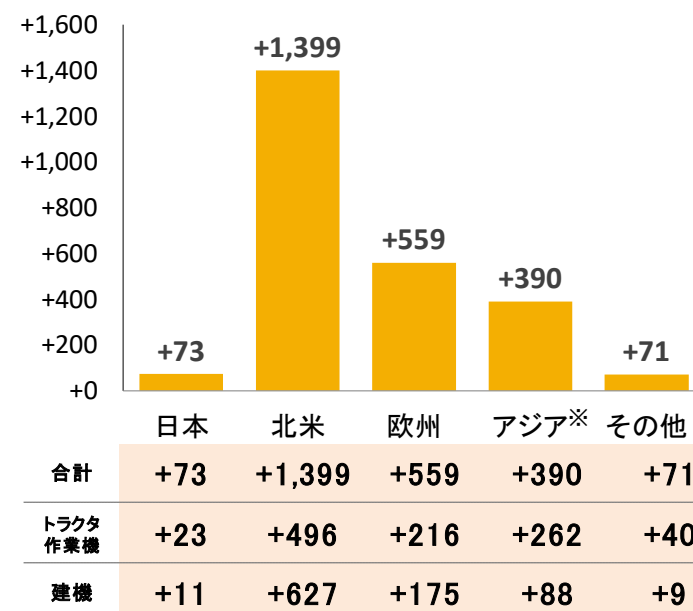
アジア

タイは干ばつ懸念による買い控えにより減。インドは冬作物の豊作により畑作市場が好調。中国は、前年の排ガス規制に対する駆け込み需要の反動により市場は縮小。

その他

需要が底堅い豪州を中心に堅調に推移。

■ 機械仕向地別売上高増減（億円）



※2022年第2四半期よりエスコーツ社を連結子会社化

● 水・環境 1,656億円（前年同期比+129）

パイプシステム

鉄管は価格上昇に伴う代替管へのシフトにより弱含み。合成管は集合住宅や非住宅向けが堅調。

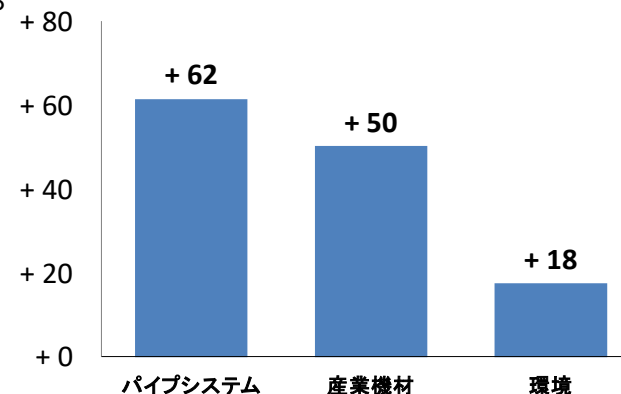
産業機材

反応管は海外プラント新設需要に支えられ堅調。空調は国内工場回帰の動きにより受注が順調。

環境

ポンプは前年の大型案件の影響により減だが計画通り。PPP案件（官民連携案件）は、一部自治体計画に遅れが発生しているも確実に受注を進めている。

■ 水・環境事業別売上高増減（億円）



● その他 102億円（前年同期比▲14）

物流など各種サービス事業より構成。

(億円)	2023年度 2Q累計		2022年度 2Q累計		増減	
	金額	%	金額	%	金額	%
営業利益	1,846	12.1	1,188	9.4	+ 658	+ 55.4

営業利益 (+658億円) の増減要因

1.為替変動	米ドル(123円→135円 ※1) ユーロ(134円→146円 ※1) 他	+330億円 +60億円 +50億円	} +440億円
2.為替差損益			▲146億円
3.原材料	機械(買入部品、鋼材 他) 水・環境(塩ビ、コイル 他)	▲109億円 ▲30億円	} ▲139億円
4.インセンティブ率変動	北米▲155億円 他		▲138億円
5.増減販			+158億円
6.製品値上げ			+807億円
7.その他	物流費+19億円 研究費▲80億円 減価償却費▲77億円 など		▲324億円

※1：但し、日本からの製品輸出にかかる輸送、在庫期間を加味した利益実現レートは、米ドル115円→138円、ユーロ130円→143円程度

事業セグメント別営業利益

(億円)		2023年度 2Q累計	2022年度 2Q累計	増減
機械	売上高	13,442	10,951	+ 2,491
	セグメント利益	1,984	1,151	+ 833
	利益率	14.8%	10.5%	+4.3P
水・環境	売上高	1,656	1,527	+ 129
	セグメント利益	99	97	+ 2
	利益率	6.0%	6.3%	▲0.4P
その他	売上高	102	116	▲ 14
	セグメント利益	11	17	▲ 7
	利益率	10.6%	15.0%	▲4.4P
調整※	セグメント利益	▲ 248	▲ 77	▲ 170
計	売上高	15,200	12,593	+ 2,607
	営業利益	1,846	1,188	+ 658
	利益率	12.1%	9.4%	+2.7P

*調整には親会社での管理部門の費用や基礎研究費、為替差損益が含まれています

財政状態計算書

For Earth, For Life
Kubota

(億円)		2023年度 2Q末	2022年度 期末	増減	為替を除く 増減
現金及び現金同等物		1,933	2,258	▲ 325	
営業債権		9,279	7,794	+ 1,486	+ 869
金融債権		18,789	16,845	+ 1,944	+ 421
棚卸資産		6,862	6,445	+ 417	▲ 65
その他		15,348	14,309	+ 1,040	
資産合計		52,212	47,651	+ 4,562	
有利子負債		19,429	16,111	+ 3,318	+ 2,161
営業債務		2,955	4,548	▲ 1,593	
その他		6,263	5,967	+ 296	
負債合計		28,647	26,626	+ 2,021	
親会社の所有者に帰属する持分		21,274	18,745	+ 2,529	
非支配持分		2,292	2,280	+ 12	
資本合計		23,565	21,025	+ 2,541	
負債及び資本合計		52,212	47,651	+ 4,562	
DEレシオ (ネット)		+ 0.82	+ 0.74	+ 0.08	
金融を除くDEレシオ (ネット)		+ 0.08	▲ 0.03	+ 0.11	

キャッシュ・フロー計算書

(億円)	2023年度 2Q累計	2022年度 2Q累計	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	▲ 981	▲ 220	▲ 761
当期利益及び減価償却費	1,913	1,425	+ 489
金融債権の増加	▲ 453	▲ 379	▲ 73
その他	▲ 2,442	▲ 1,266	▲ 1,176
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 978	▲ 2,266	+ 1,288
有形固定資産及び無形資産の取得	▲ 901	▲ 806	▲ 95
その他	▲ 77	▲ 1,460	+ 1,383
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,537	1,898	▲ 361
為替レート変動の現金及び現金同等物に対する影響	98	156	▲ 58
現金及び現金同等物の純減	▲ 325	▲ 433	+ 109
フリーキャッシュ・フロー	▲ 1,959	▲ 2,487	+ 527

小売金融の状況 <ご参考（非監査）>

財政状態計算書

(億円)	2023年度 2Q末		2022年度 期末	
	金融事業	金融事業を除く ベース	金融事業	金融事業を除く ベース
資産合計	21,464	31,860	19,522	29,462
現金及び現金同等物	314	1,620	231	2,027
営業債権	306	8,985	293	7,521
金融債権	18,789	-	16,845	-
棚卸資産	-	6,862	-	6,445
有形固定資産	155	6,689	111	6,246
その他	1,901	7,703	2,043	7,223
負債合計	17,957	11,626	16,800	11,668
有利子負債	17,104	2,742	15,448	1,571
その他	853	8,884	1,352	10,097
資本合計	3,507	20,233	2,722	17,794

小売金融債権遅延率

(億円)	2023年度 2Q末	2022年度 期末	増減	
	金額	金額	金額	%
債権残高	18,789	16,845	+ 1,944	+ 11.5
内90日以上遅延	169	113	+ 56	+ 49.9
遅延率	0.9%	0.7%	-	+ 0.2P

業績予想

2023年度業績予想

(億円)	2023年度 (予想)	2022年度 (実績)	増減		2023年度 (期初予想)
			金額	%	
売上高	29,500	26,770	+ 2,730	+ 10.2	29,000
国内	6,390	6,024	+ 366	+ 6.1	6,380
海外	23,110	20,746	+ 2,364	+ 11.4	22,620
営業利益	9.7% 2,850	8.0% 2,144	+ 706	+ 32.9	9.3% 2,700
税引前利益	10.1% 2,980	8.6% 2,312	+ 669	+ 28.9	9.6% 2,780
親会社の所有者に帰属する 当期利益	6.8% 2,000	5.8% 1,565	+ 435	+ 27.8	6.4% 1,860

米ドル 平均レート(円)	132	131
ユーロ 平均レート(円)	144	138
バーツ 平均レート(円)	3.88	3.75

前年比に対する売上の為替の影響は+170億円
 期初予想比に対する売上の為替の影響は+1,100億円



機械 25,620億円（前年同期比+2,358）

日本

農機市場は米価は下げ止まりつつあるが生産コスト高が先行しており、本格的な回復はまだ見込めない。

北米

Residential市場は年初からの調整局面が続き、2018年レベルの市場を見込む。農用・酪農市場は農作物価格の下落もあり転換期に差し掛かっている。建機市場は期初想定よりも若干強く、引続き住宅のバックオーダー、政府のインフラ開発需要を背景に好調を見込む。

欧州

建機・エンジン市場は公共工事需要に支えられ好調だが、今年をピークに今後は調整局面に入っていく可能性がある。トラクタ市場は引き続き弱含むが、前年の在庫不足による売り逃しの解消により増収を見込む。

アジア

タイ市場は干ばつ懸念による買い控えにより、稲作、畑作市場ともに減少を見込む。インド市場は一部干ばつ懸念が浮上するも、夏作物の植え付けは例年通りに開始。中国市場は排ガス規制前の駆け込み需要の反動が続き農機市場は低迷。建機市場も低調な公共工事が続く。

その他

豪州は金利上昇により市場は縮小傾向に転じる。



水・環境 3,680億円（前年同期比+404）

パイプシステム

鉄管は価格上昇に伴う代替管へのシフトにより引き続き弱含み。
合成管は鉄管からの代替需要もあり、集合住宅や非住宅向けが堅調。

産業機材

反応管は引き続き海外プラント新設需要に支えられ、堅調な推移を見込む。
空調は国内工場回帰の流れにより得た上半期受注に対する納入が下半期に進む。

環境

民間工場の国内回帰により、工場排水・排ガス案件の売上が増加。
ポンプやPPP案件（官民連携案件）の需要は堅調であるものの、売上は調達品の長納期化等で後ろ倒し傾向。



その他 200億円（前年同期比▲32）

物流など各種サービス事業より構成。

(億円)	2023年度 (予想)		2022年度 (実績)		増減	
	金額	%	金額	%	金額	%
営業利益	2,850	9.7	2,144	8.0	+ 706	+ 32.9

営業利益 (+706億円) の増減要因

1.為替変動	米ドル(131円→132円 ※1) ユーロ(138円→144円 ※1) 他	+420億円 +120億円 +10億円	} +550億円
2.為替差損益			▲181億円
3.原材料	機械 (買入部品、鋼材 他) 水・環境 (塩ビ、コイル 他)	▲287億円 ▲44億円	} ▲331億円
4.インセンティブ率変動	北米▲207億円 他		▲216億円
5.増減販			+187億円
6.製品値上げ			+1,280億円
7.その他	物流費+259億円 研究費▲155億円 減価償却費▲145億円 など		▲583億円

※1：但し、日本からの製品輸出にかかる輸送、在庫期間を加味した利益実現レートは、米ドル122円→136円、ユーロ133円→144円程度

事業セグメント別営業利益予想

(億円)		2023年度 (予想)	2022年度 (実績)	増減
機械	売上高	25,620	23,262	+ 2,358
	セグメント利益	3,230	2,326	+ 904
	利益率	12.6%	10.0%	+2.6P
水・環境	売上高	3,680	3,276	+ 404
	セグメント利益	260	173	+ 88
	利益率	7.1%	5.3%	+1.8P
その他	売上高	200	232	▲ 32
	セグメント利益	30	31	▲ 1
	利益率	15.0%	13.3%	+1.7P
調整※	セグメント利益	▲ 670	▲ 385	▲ 285
計	売上高	29,500	26,770	+ 2,730
	営業利益	2,850	2,144	+ 706
	利益率	9.7%	8.0%	+1.7P

*調整には親会社での管理部門の費用や基礎研究費、為替差損益が含まれています

■ 設備投資・研究開発費

(億円)	2023年度 (予想)	2022年度 (実績)	2021年度 (実績)
設備投資	1,800	1,694	1,214
研究開発費	1,038	883	653

■ 1株当たり配当

(円)		2023年度	2022年度	増減
1株当たり配当	(中間)	24 円	22 円	+ 2 円
	(期末)	(未定)	22 円	-
	(通期)	(未定)	44 円	-

正常なオペレーションの回復

For Earth, For Life

ENVIRONMENTAL

Kubota

(参考①) 米国参考指標

■ トラクタ市場台数伸長率（前年同期比）

		1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-6月	1-9月	1-12月
2022年	0-40馬力	▲ 10.8%	▲ 18.7%	▲ 21.4%	▲ 26.2%	▲ 15.8%	▲ 17.5%	▲ 19.3%
	40-120馬力	▲ 4.2%	▲ 13.4%	▲ 9.5%	▲ 1.2%	▲ 9.8%	▲ 9.7%	▲ 7.5%
	120-160馬力	+ 10.3%	+ 3.9%	+ 4.4%	+ 12.5%	+ 6.5%	+ 5.7%	+ 7.8%
2023年	0-40馬力	▲ 20.1%	▲ 8.4%	-	-	▲ 13.0%	-	-
	40-120馬力	▲ 9.2%	▲ 4.5%	-	-	▲ 6.5%	-	-
	120-160馬力	▲ 0.2%	+ 0.1%	-	-	▲ 0.0%	-	-

出典：AEM (Association of Equipment Manufacturers)

■ 0-6tバックホー市場台数伸長率（前年同期比）

		1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-6月	1-9月	1-12月
2022年		+ 10.2%	▲ 7.7%	+ 7.6%	▲ 3.1%	▲ 0.3%	+ 2.3%	+ 0.8%
2023年		+ 3.8%	+ 10.9%	-	-	+ 7.7%	-	-

出典：AEM (Association of Equipment Manufacturers)

■ コンパクトトラックローダ市場台数伸長率（前年同期比）

		1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-6月	1-9月	1-12月
2022年		▲ 1.7%	▲ 9.1%	▲ 1.1%	+ 12.7%	▲ 6.0%	▲ 4.4%	+ 0.2%
2023年		+ 17.4%	+ 3.3%	-	-	+ 9.4%	-	-

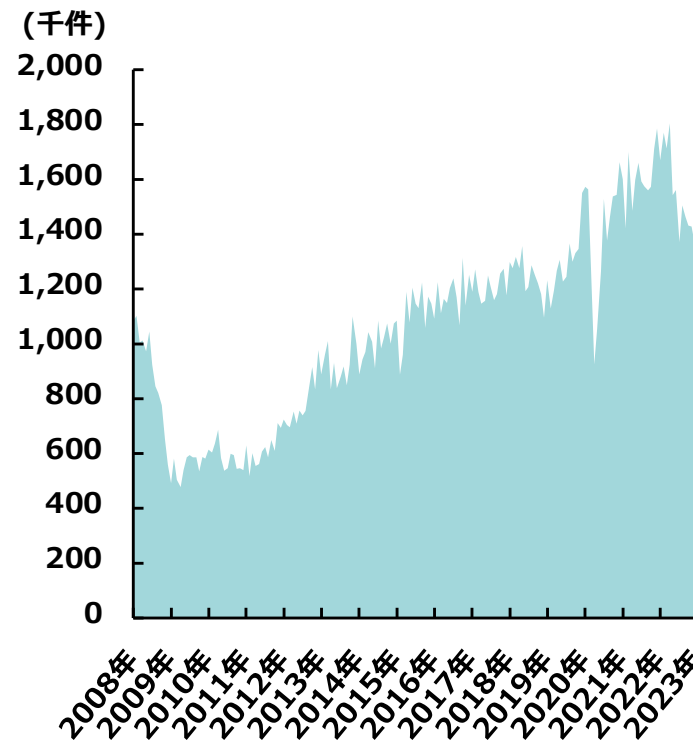
出典：AEM (Association of Equipment Manufacturers)

■ スキッドステアローダ市場台数伸長率（前年同期比）

		1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-6月	1-9月	1-12月
2022年		▲ 20.3%	▲ 18.9%	▲ 15.7%	▲ 17.4%	▲ 19.6%	▲ 18.3%	▲ 18.0%
2023年		▲ 5.3%	+ 4.5%	-	-	+ 0.1%	-	-

出典：AEM (Association of Equipment Manufacturers)

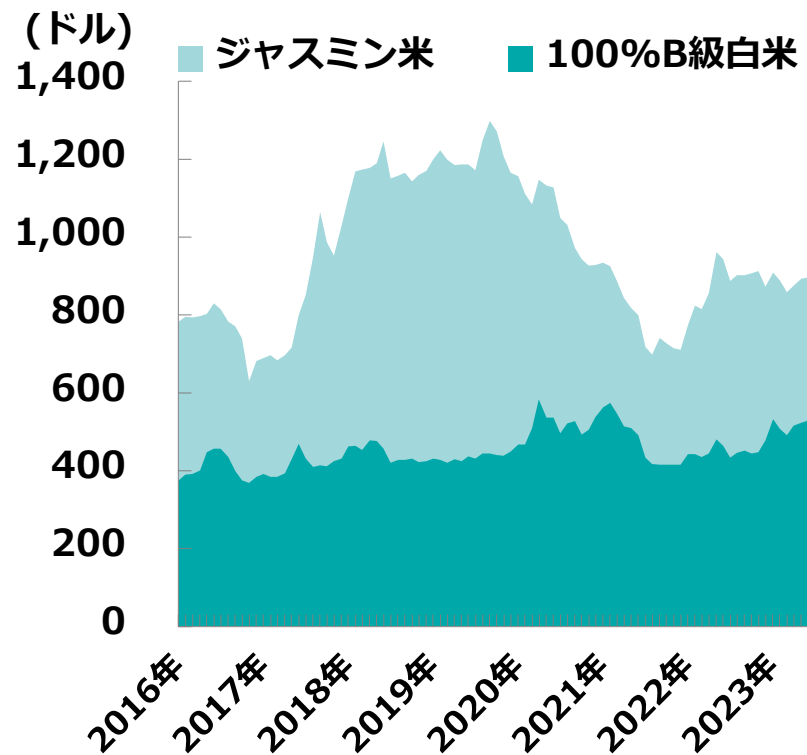
■ 米国住宅着工件数（季節調整済・年率換算）



出典：米国国勢調査局 (U.S. Census Bureau)

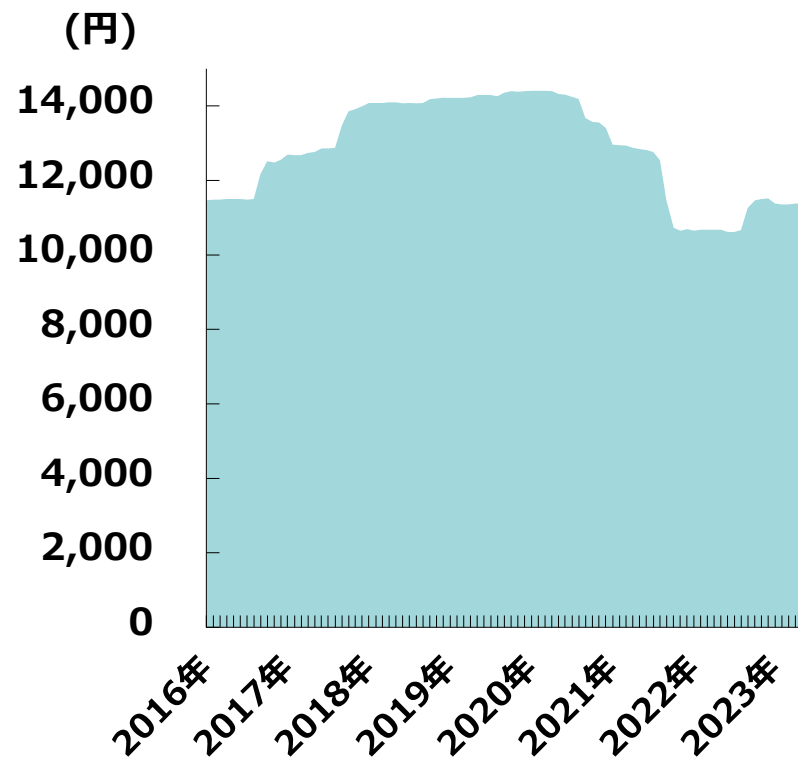
(参考②)機械事業の動向(タイ・日本)

■タイ米輸出価格推移 ドル/トン



出典：米国農務省、タイ米輸出協会

■日本米の生産者価格推移 円/60kg



出典：農林水産省「農業物価統計調査」

本資料で記述されている業績予想ならびに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。
